

ゴンドラ

No.5

「大和川」を年間テーマとして

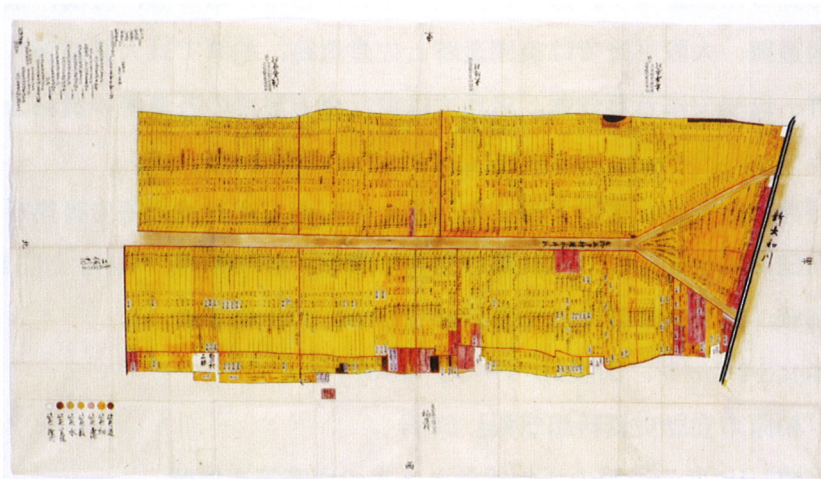
平成20年度の当館の年間テーマを「大和川」としました。なぜ「大和川」にしたのでしょうか。

柏原市内を南北に分断して大阪湾まで流れる大和川。この大和川は宝永元年（1704）に付け替えられた川です。付け替えから300年を迎えた平成16年（2004）に、近隣の博物館・資料館とともに大和川水系ミュージアムネットワークを結成し、大和川の研究・展示・広報などに取り組みました。それ以来、市民やマスコミなど各方面で大和川についての関心が高まり、大和川付け替えのことなら柏原市立歴史資料館に聞け、というように周知されてきました。

そのような状況のなか、大和川にとって記念すべき年となる平成20年（2008）のテーマを再び大和川にしようと考えました。遣隋使として隋を訪問した小野妹子らの帰国に伴って、隋からの使節裴世清らが来朝したのが608年、今年で1,400年となります。そして、裴世清らは大和川を遡って飛鳥へ向かったと考えられるのです。

もうひとつ、大和川付け替えの翌年から旧大和川筋に新田が開かれました。新田は鎌下年季三年といい、3年間は年貢が免除されましたが、その後、土地の面積や石高などを確認する検地を行い、年貢がかかるようになりました。付け替え後、最初に検地が実施されたのが宝永5年（1708）、ちょうど300年前のことになります。

このふたつの理由から、今年度のテーマを大和川としました。そして春季企画展「大和川付け替えと新田開発」、夏季企画展「裴世清の見た風景」、秋季企画展「大和川つけかえとその後」を開催しました。これらによって、大和川の歴史をさらに研究し、市民にその成果を伝えることができると願っています。



市村新田絵図(寺田信正氏所蔵)

企画展のご案内

◎平成20年度秋季企画展

「大和川つけかえとその後」

平成20年9月30日～12月14日

例年開催している大和川の付け替えについての企画展です。今年度は新田検地から300年にあたるため、つけかえだけでなく、その後の大和川についても考える展示とします。

◎平成20年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たちーはかる道具ー」

平成21年1月10日～3月8日

これも例年開催しているちょっと昔の道具についての展示です。来館した小学校を対象に、昔の道具の使い方の紹介や縄ないなどの体験学習も行っています。

◎平成20年度春季企画展「すべて見せます高井田山古墳」(仮称)

平成21年3月28日～6月14日(予定)

平成20年3月に、高井田山古墳出土品が柏原市指定文化財第1号に指定されました。これを記念して、高井田山古墳出土品をすべて見てもらおうと計画しています。高井田山古墳出土品のうち、火熨斗や銅鏡、ガラス玉などは常設展示していますが、今回の展示では土器や埴輪など、できる限り、出土品のすべてを展示したいと考えています。



高井田山古墳出土火熨斗

※タイトル・期間等に変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。

ー刊行物のおしらせー

・『裴世清の見た風景』平成20年度夏季企画展展示図録

夏季企画展に伴う図録。裴世清がたどったと考えられるルートを復元し、その途中にある遺跡などを紹介した図録です。難波津、大阪平野、柏原、亀の瀬、斑鳩、飛鳥をとりあげ、難波津では難波宮下層遺跡、大阪平野では美園遺跡と佐堂遺跡、柏原では大県遺跡・船橋遺跡・高井田遺跡・平尾山古墳群、斑鳩では若草伽藍、飛鳥では雷丘東方遺跡の各遺跡の資料を解説しました。

カラー12ページ、モノクロ20ページ。500円

・『河内国安宿部郡国分村文書目録』柏原市古文書調査報告書第6集

当館に所蔵する国分村関係の文書の調査・整理報告。5件、計512点の目録と一部史料の翻刻などを掲載。国分村に関する文書目録は初めてのものです。

本文34ページ、図版10ページ。400円

・『柏原市立歴史資料館館報』20号

平成19年度の当館の活動報告と3本の研究等を掲載。

本文75ページ、カラー図版1ページ。500円。

企画展を終えて

★平成19年度秋季企画展「大和川を守る一つけかえとその後」

平成19年 9月25日～12月 9日

観覧者数9,765人（個人1,784人、団体7,981人）

★平成19年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たちーくらしの中の道具ー」

平成20年 1月12日～ 3月 2日

観覧者数2,507人（個人989人、団体1,518人）

★平成19年度春季企画展「大和川付け替えと新田開発」

平成20年 3月22日～ 6月15日

観覧者数3,229人（個人2,667人、団体562人）

★平成20年度夏季企画展「裴世清の見た風景」

平成20年 7月12日～ 9月14日

市民歴史クラブの活動

平成18年度から、市民有志による市民歴史クラブを結成し、当館を拠点に活動しています。このクラブは、文化財講座参加者などのなかから、もっと歴史を深く学びたい人たちを募集し、自ら活動することを目指して結成したものです。当館の会議室や図書などの利用を認めていますが、あくまでも活動は自主的に行うことにし、学芸員は求められればアドバイスをするという程度で関わっています。

クラブでは、平成19年度の夏季企画展「河内六寺の輝き」に、智識寺の伽藍をCGで復元するというかたちで参加しました。60歳以上のメンバーにとって、CGはたいへんでしたが、柏原東高校などの協力を得て、なんとか金堂・講堂・塔・回廊の建物を復元することができました。これを企画展の1コーナーで展示し、マスコミにも報道され、研究者からも高い評価を得ました。

平成20年度も夏季企画展「裴世清の見た風景」に伴って、裴世清らの船団と河内大橋を絵画で復元し、鳥坂寺の伽藍をCGで復元しました。19年度よりもさらに幅が広がったように思います。

各館でボランティアの設置が盛んですが、当館においてはこの歴史クラブの方々に、まず歴史を楽しんでもらうことを第一に考えています。そして、メンバーの意思によって、ボランティアとしても活動してもらっています。



平成19年度夏季企画展展示風景



CGで復元された智識寺金堂

新収資料の紹介

当館では、毎年多数の資料の寄贈・寄託を受けていますが、平成19年度も計17件の寄贈・寄託を受けました。その寄贈資料のなかから、中甚兵衛像を紹介したいと思います。

この中甚兵衛像は、柏原市太平寺の高井豊幸氏から寄贈されたものです。高井氏から掛軸の文字を読んでほしいという依頼があり、高井氏のお宅におじゃましたところ、所有しておられた中甚兵衛像を見せていただき、平成19年度秋季企画展で展示したいのでぜひお借りしたいとお願いしていました。そこで、秋季企画展も近づいたところに借用に伺うと、寄贈するので自由に使ってくださとおっしゃっていただきました。

像の高さは98cmで、FRP製です。築留に建つ中甚兵衛像の製作途中の試作品ということで、右手を遠く指差すまったく同じポーズです。大和川付け替えをテーマにした秋季企画展には、毎年8,000人前後の小学生が訪れます。できるだけわかりやすくところがかけて、いろいろと工夫していますが、展示品は古文書や絵図が中心となるため、むずかしいという意見もしばしば耳に聞こえます。この中甚兵衛像は、陣羽織や肖像画とともに、中甚兵衛を、そして大和川の付け替えを理解するうえで、貴重な展示品となります。これからも毎年展示していきたいと考えています。

高井氏をはじめ、さまざまな資料を寄贈・寄託いただいた方々に感謝したいと思います。



中甚兵衛像(高井豊幸氏寄贈)

－ひとこと－

ゴンドラ第5号をお届けします。年々新しい事業に取り組んできましたが、そろそろアイデアも事業量も限界かなと思っております。最近は大和川に関係するメディアの取材が急増し、ラジオ放送を1日に2件かけもちという日もありました。また、八尾コミュニティ放送のFMちょおに月1回出演して資料館の活動などを紹介しています。文化財講座や市民歴史大学も盛況で、うれしい限りです。これからも市民の立場にたった活動を続けていきたいと考えていますので、ご意見やご感想をお寄せいただくとともに、これからもご協力をよろしくお願いします。

柏原市立歴史資料館

休館日 月曜日（祝日でも休館）、年末・年始

開館時間 午前9時30分～午後4時30分 入館料 無料

〒582-0015 大阪府柏原市高井田1598-1 TEL 072-976-3430